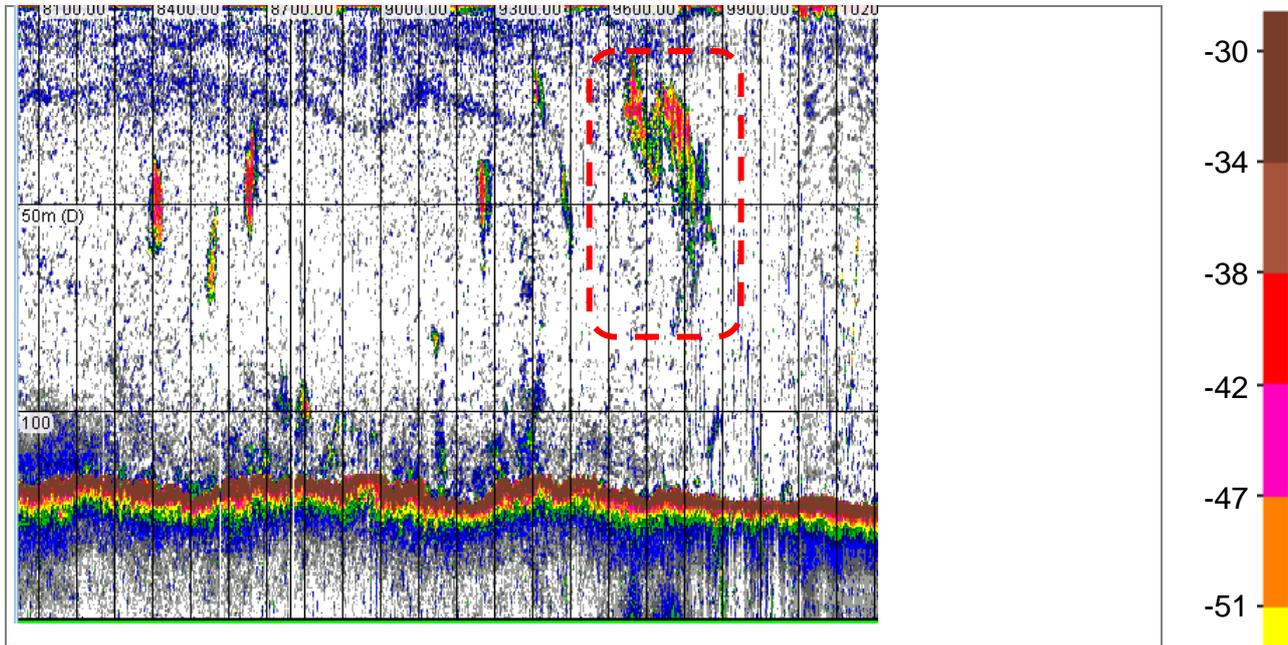


反応構成生物： サバ類 (*Scomber japonicas*, *Scomber australasicus*)

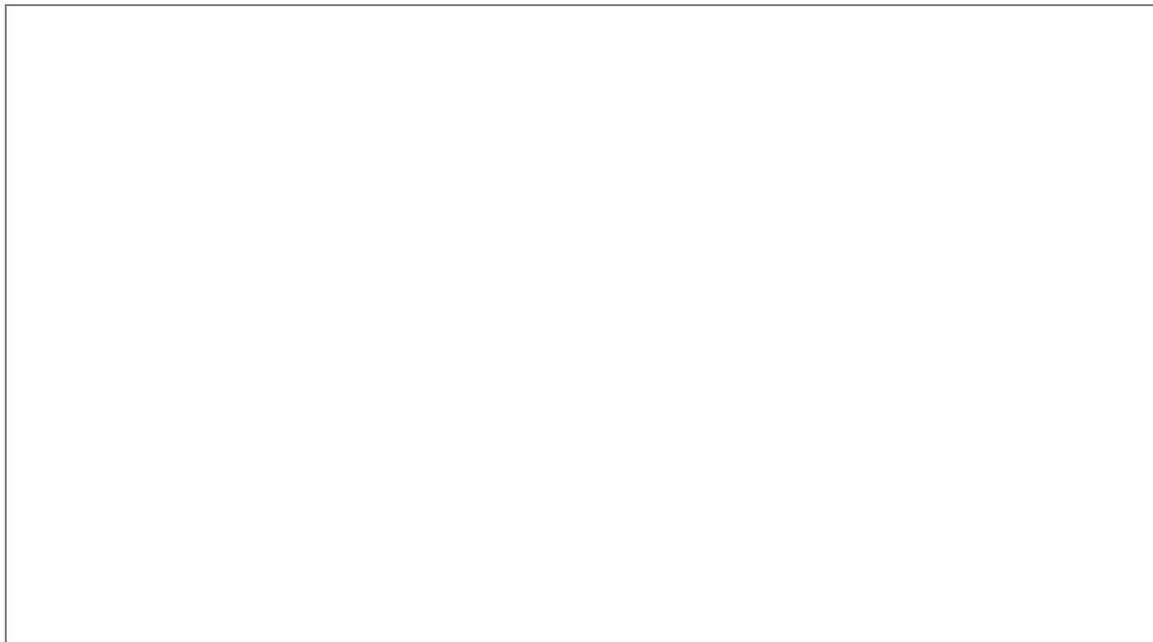
収録日時：2005年6月21日 (昼間 8:40 頃)

収録海域：太平洋，房総沖

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 kHz

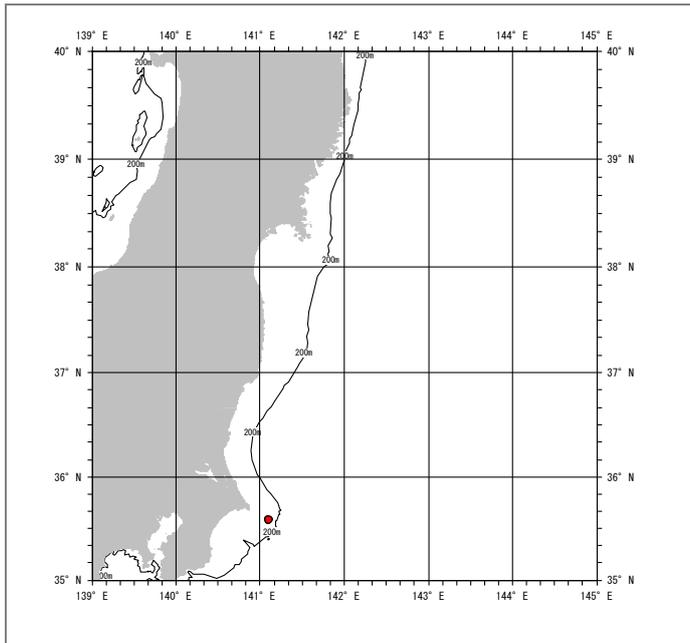
表示スケール： 縦 150 m / 横 2200 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

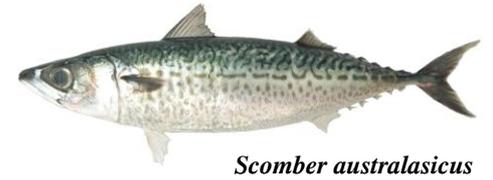
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：茨城県水産試験場 (小澤竜太), いばらき丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」，川端 淳（中央水産研究所）

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

反応直上，もしくはその付近において釣獲調査を行い，サバを確認したこと（エコーグラム中の赤破線がサンプリングした反応と考えられる）。

また，エコーグラムの観察地点から半径 10 マイル以内の海域において，本エコーグラム観察日の前後二日以内にまき網漁船によって，サバ類とアジ類の漁獲があったこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳：マサバ 19 個体，ゴマサバ 3 個体

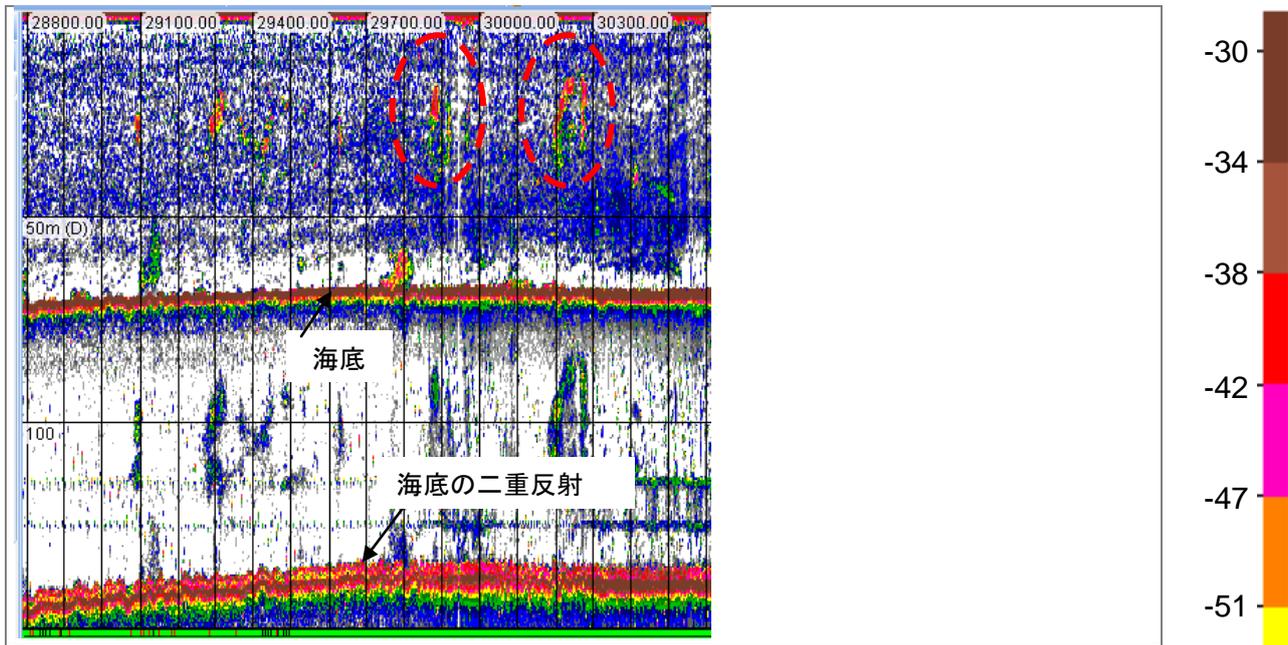
サバ類の尾叉長範囲：マサバ 24~34 cm，ゴマサバ 24~28 cm

反応構成生物： サバ類 (*Scomber japonicus*, *Scomber australasicus*)

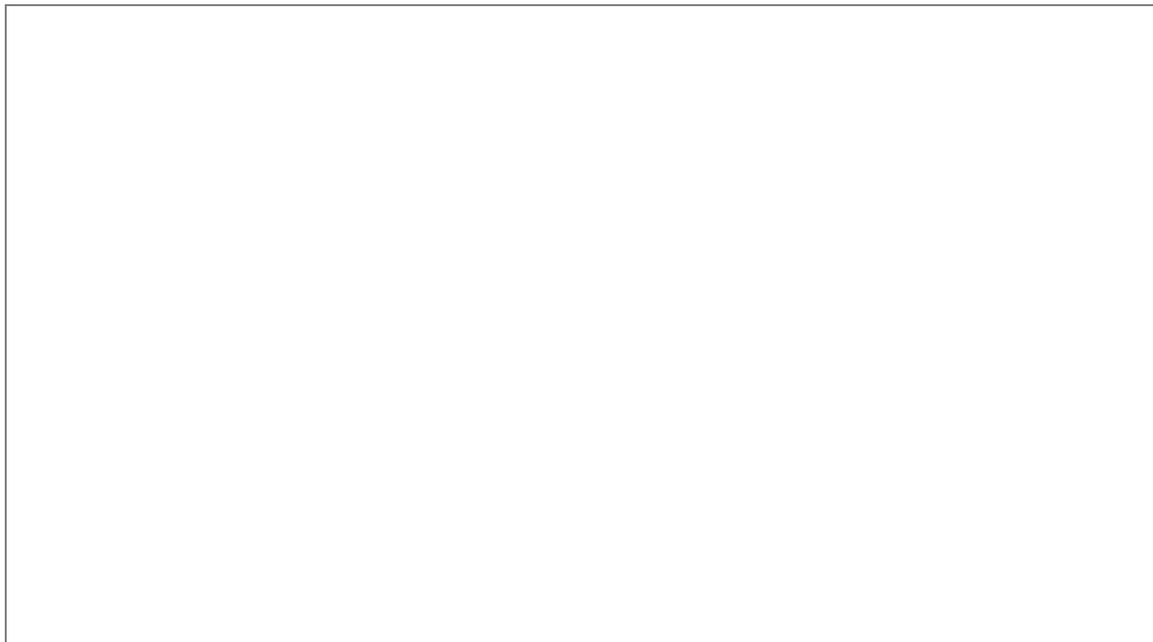
収録日時：2005年6月21日 (昼間 14:20 頃)

収録海域：太平洋，房総沖

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 kHz

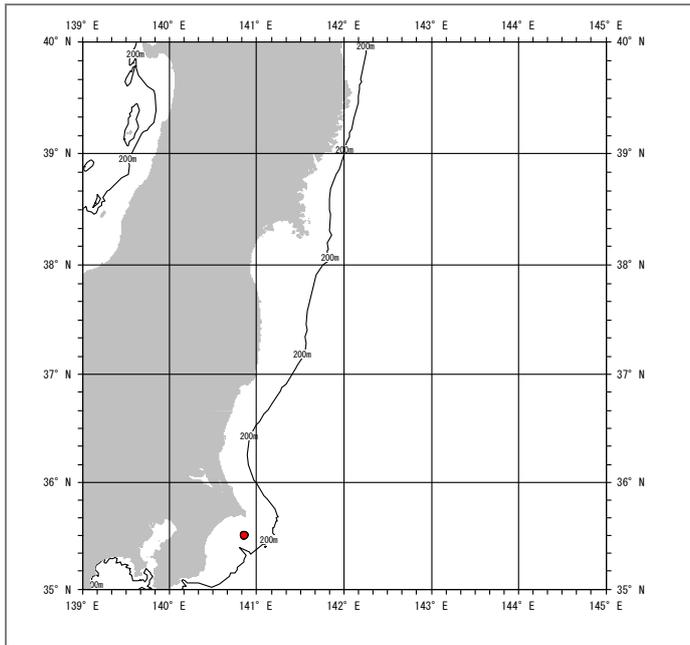
表示スケール： 縦 150 m / 横 1800 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

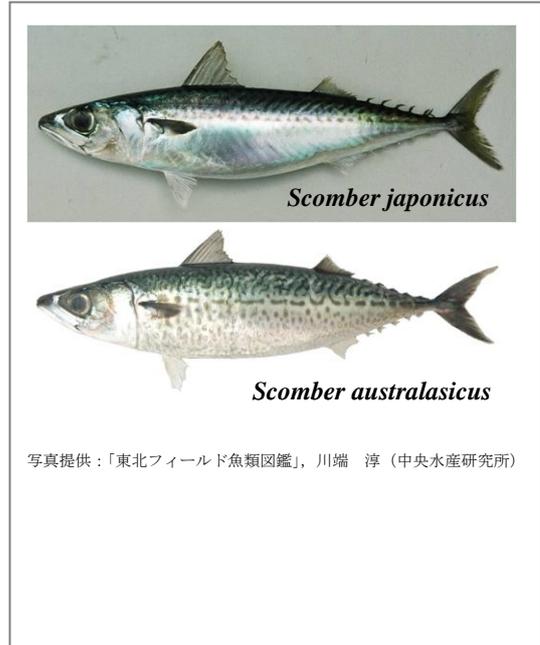
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：茨城県水産試験場 (小澤竜太), いばらき丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

反応直上，もしくはその付近において釣獲調査を行い，サバを確認したこと（エコーグラム中の赤破線がサンプリングした反応と考えられる）。

また，エコーグラムの観察地点から半径 10 マイル以内の海域において，本エコーグラム観察日の前後二日以内にまき網漁船によって，サバ類とアジ類の漁獲があったこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳：マサバ 39 個体，ゴマサバ 5 個体

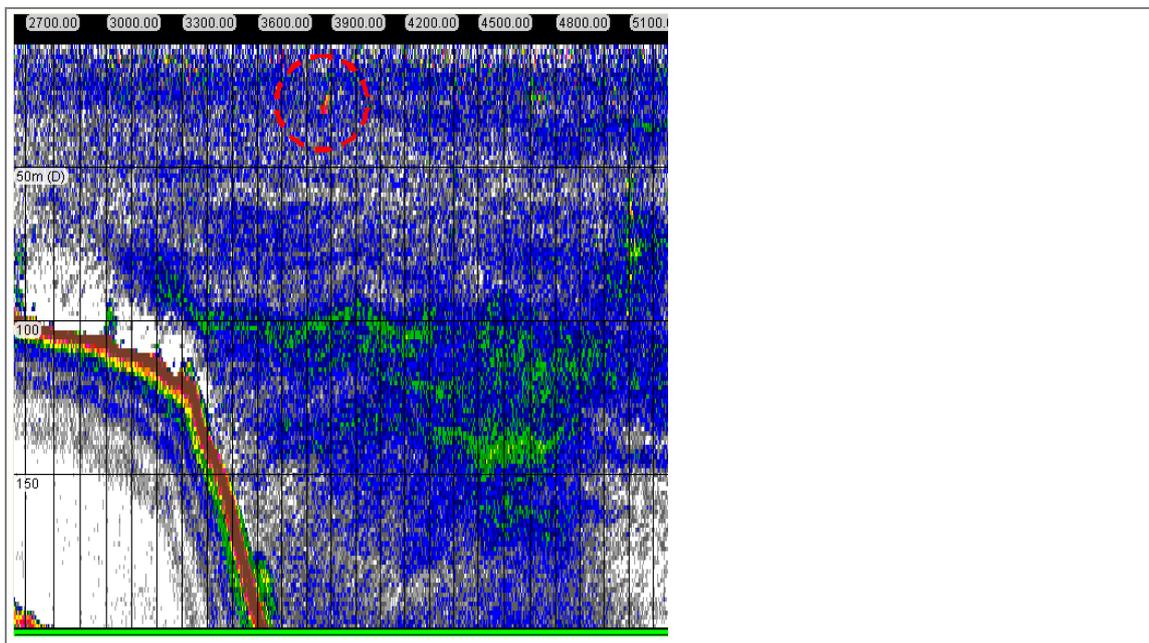
サバ類の尾叉長範囲：マサバ 22~28 cm，ゴマサバ 23~25 cm

反応構成生物：ゴマサバ (*Scomber australasicus*)

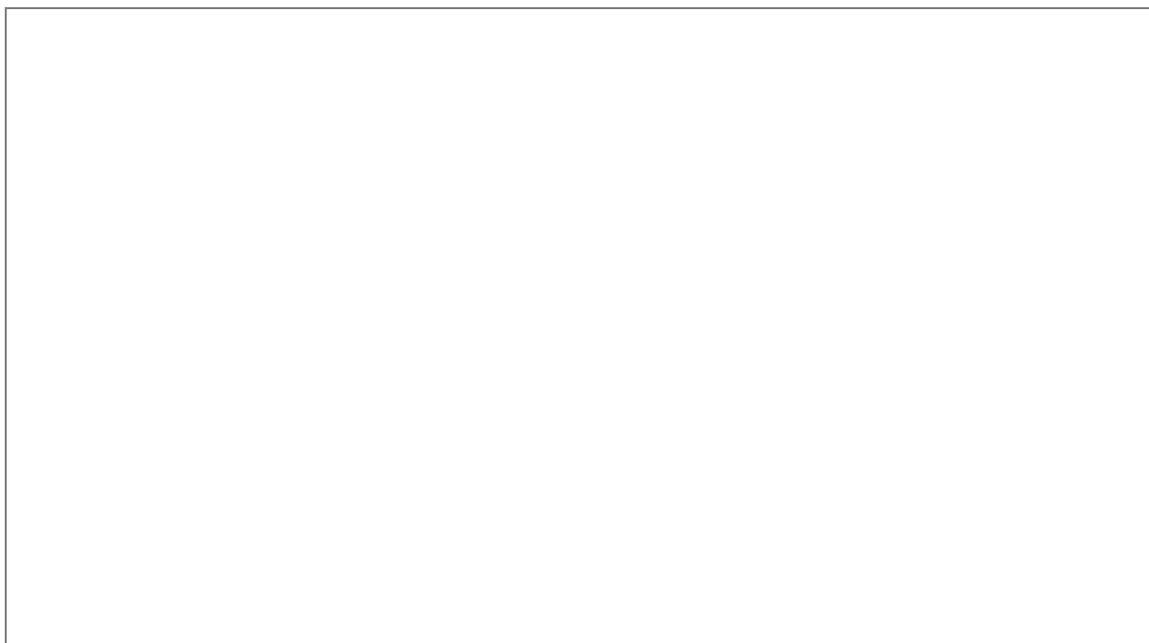
収録日時：2008年6月11日 (日没前 18:46)

収録海域：太平洋, 伊豆諸島近辺

収録機種・周波数：EK500・38 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 kHz

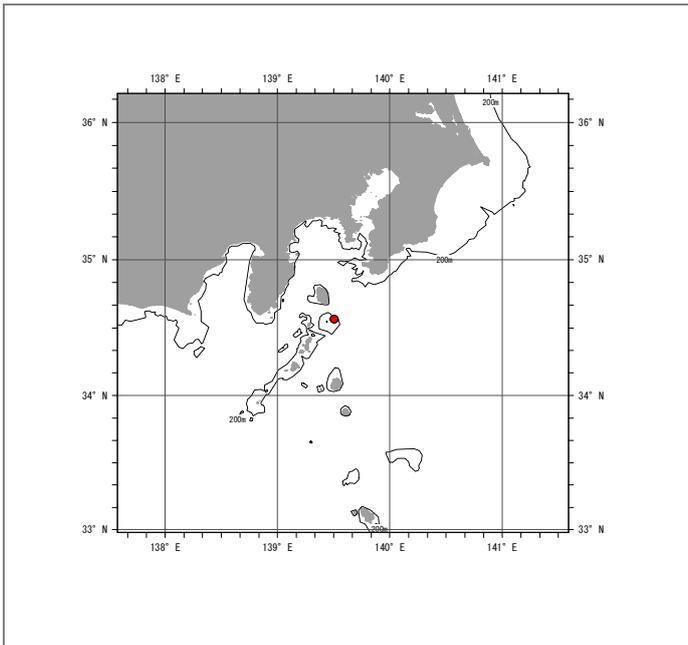
表示スケール：縦 200 m / 横 2700 m

グリッド間隔：縦 50 m / 横 100 m

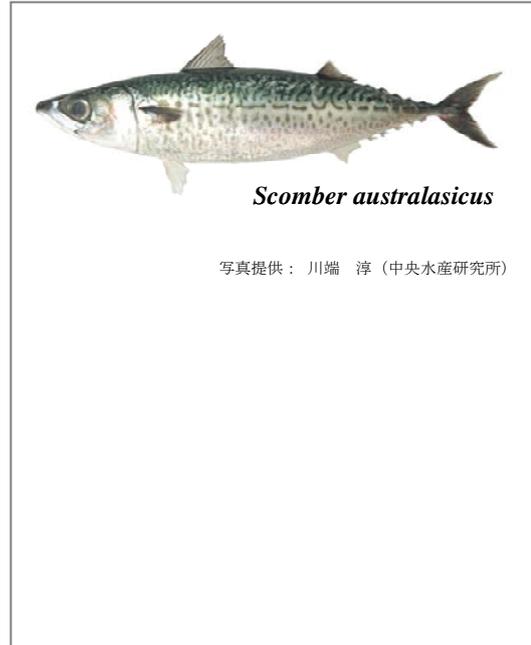
表示色・表示 S_v 範囲：EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：中央水産研究所 資源動態研究室 (川端 淳), 北鳳丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

日没から夜間にかけて釣獲調査をおこなったところ、表層ではゴマサバを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

釣獲したサバの平均体長は 30.8 ± 2.8 cm。海底付近では、ムツやメダイ、チカメキントキダイが釣獲され、海底付近の反応はこうした魚類によるものと推測される。